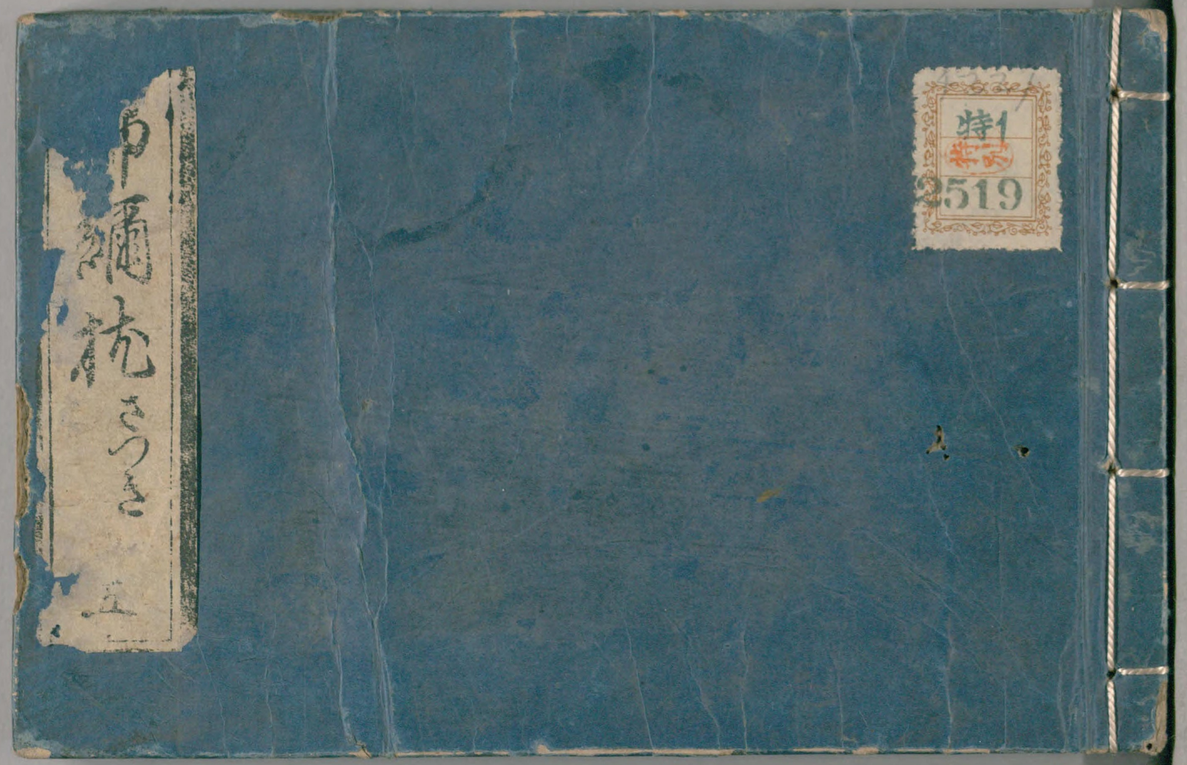
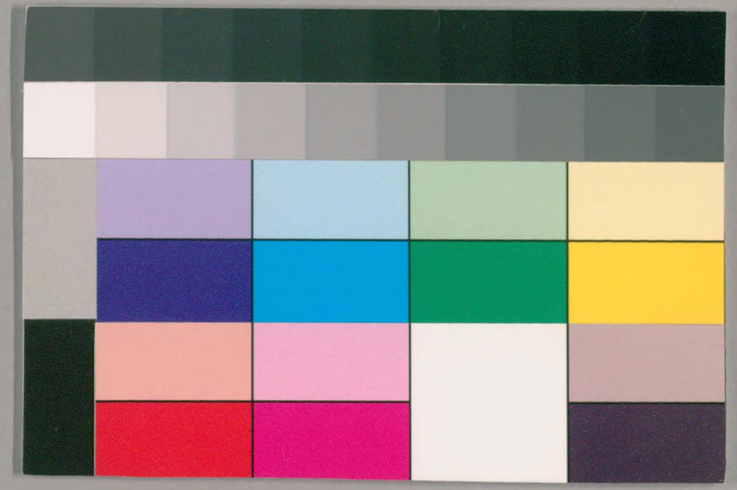


国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用

錦繍枕巻五 うつきの部

神まつり

白井氏藏書

白妙の
のこりの如給ふ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』　請求記号 特1-2519

ガラス使用

特1
2519

ありはもかてとく
ちうを花あくあつ
まり候ねれハ枝
たまにして採乃
ちくを年のめつ
しき内し

さて
紙うのこ
花形紙まづきて
紙牛よ似てうのこ
たくさんありあか
うす色のまんちゃ

花ぐるま

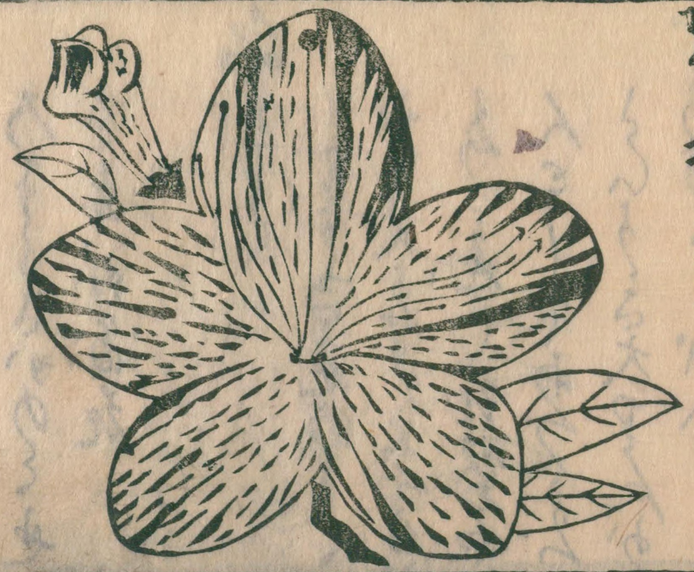
を候八月のはも稀
よく

花形あんとながう

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

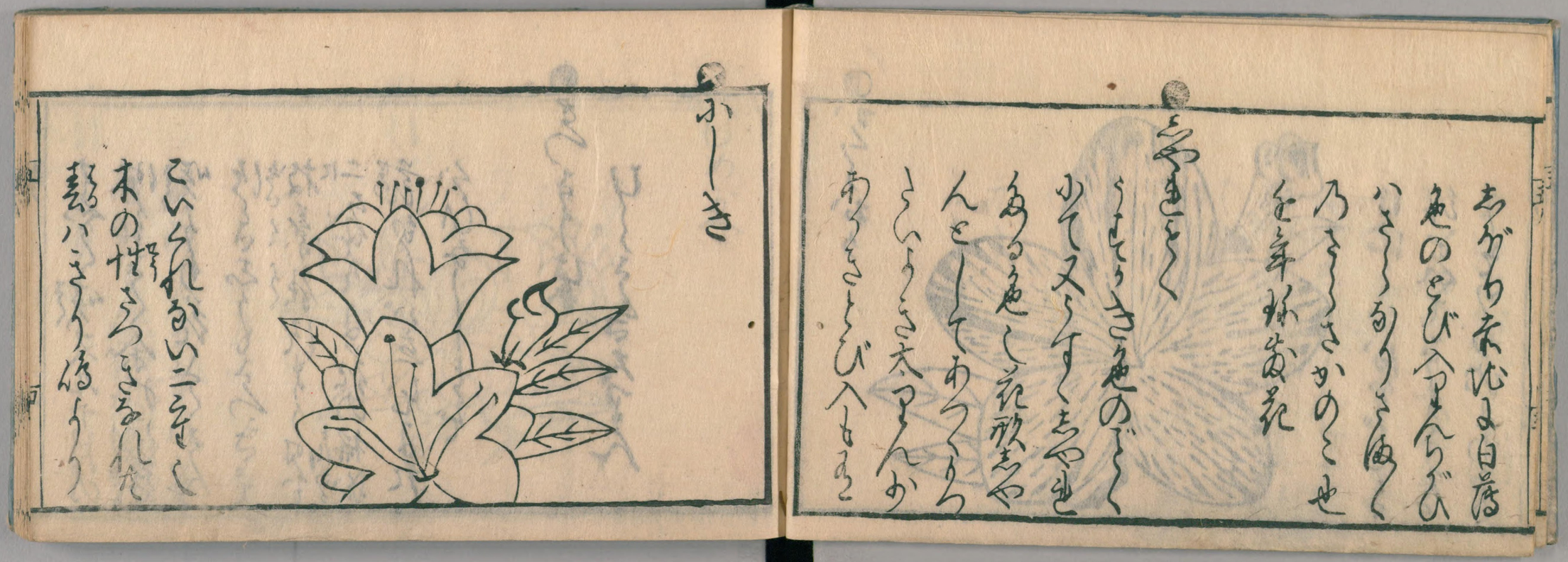
白ゆと色にと落色
かさ色ゆて咲分き
かりさ〳〵さまと白赤
落色れまんちゃい
あどりろくろひ
れ

八しゅ
ひれ白太つまん花
形れしまのごく
よく白



白ゆとなかどこさ
紅とんてさ〳〵さま
らとりろゆとあうさ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用



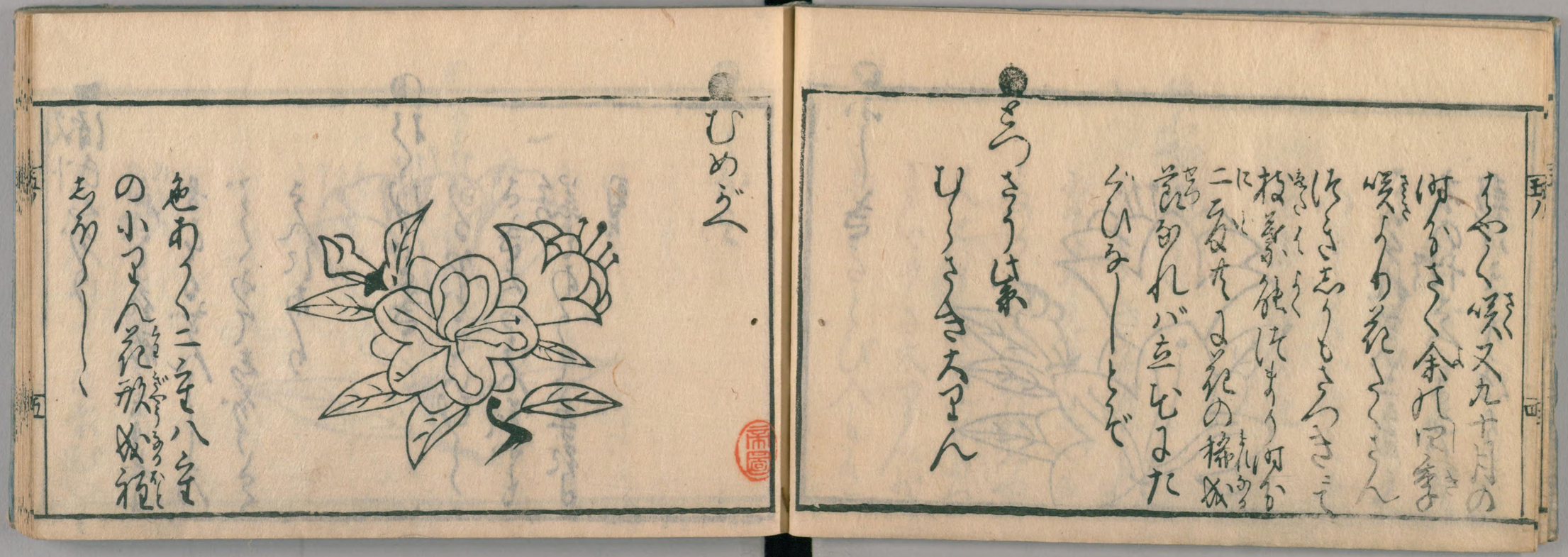
ふしき

こいそれかい二そし
木の性さつきをしれた
ゑ八さう俗ようう

ちがう花はよ白ゐ
色のとび今ちらび
ハさ〳〵ゐうさ色く
乃さ〳〵さかのこ也
を年林茂花

ゑきとく
うたてうき色のごく
小て又らすくちゐ色
ゐる色し花形ちゐ
んをしてゐつくう
らいうき大ア人か
ゐうきとび入もと

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

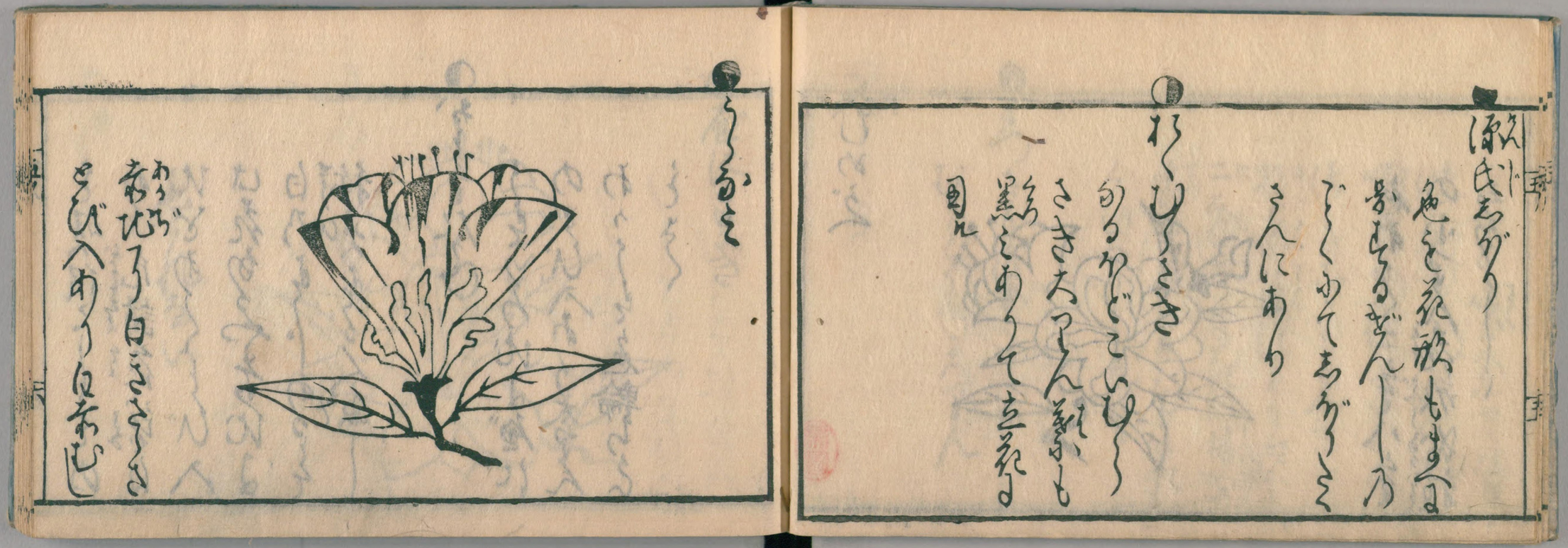


ひめゞ

色あゝ二月八月の小さん花

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用



敵氏ちがう
色を花敵もまる
ぶもるぎんしの
ぐくめてちがう
さんにあり

わくしゃき
白かどこいむ
さきたつさん熱も
黒をあるて立花
国れ

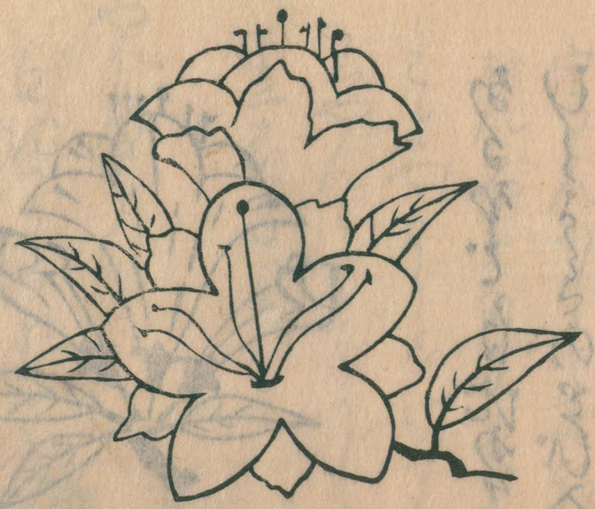
うこぎ

あかぢ
赤地ろ白さささ
ぶ入あり白赤じ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

を吸ひてしをの
ゝ花諸花皆白
ひとゝくとび入
はなゝるや花は
白乃ちとゝ称美する人あり

おとなたち
うちゝろひは菴に
のとび入ゝ太夫
ゝうちゝ色輪ちゝ
ちゝく



菴にまゝき

色えれあい

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

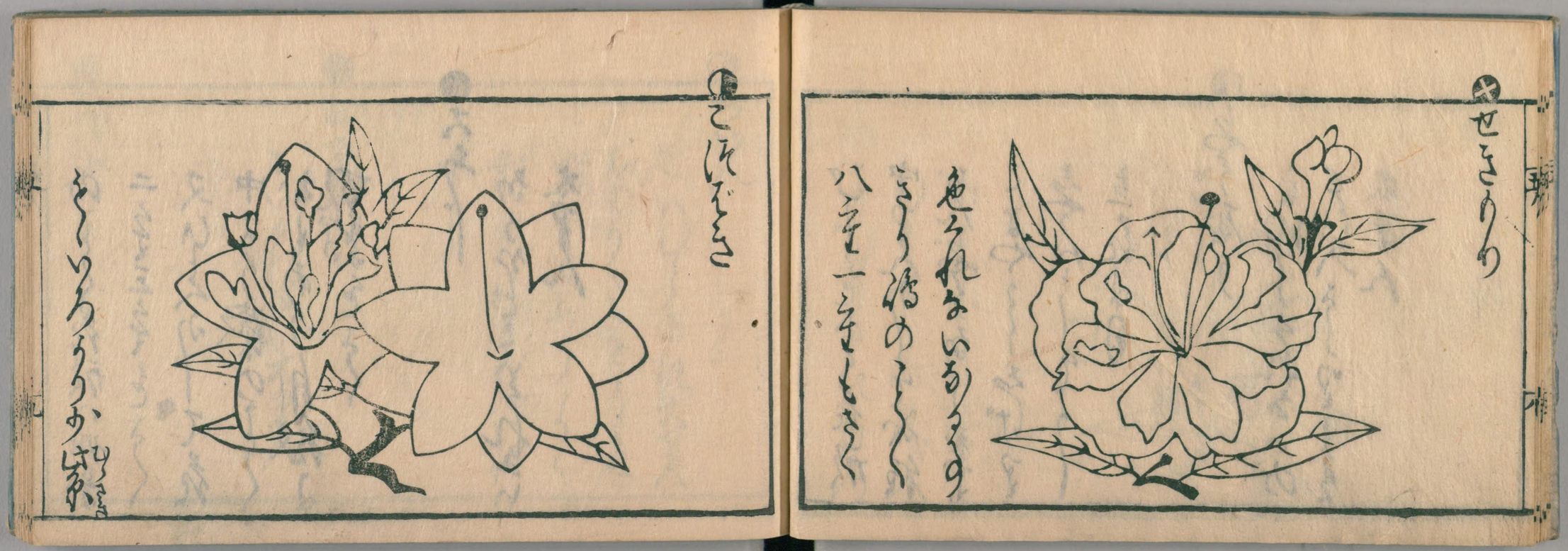
ひるがほ

あるかなどは白ぬかて
しらさきのとびへ
をしらされは白乃

ひるがほ花形
中ほんかして茶紙
ぢんぢうあり葉も
こまやかにちげほ
ちんとしてう
花は日

ちうかう
白ぬりれるいの
とびへさほとを
太ほん

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用




国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

のこと花形ハ如前
二ツ三ツをさく
又ひとかつて花
中より蘂のこと
おもわり自然
形蘂をさく

●大うど
あるかどこいそれぬい
太夏ん

●ちかん
こいむらされ太夏ん
蘂ちくこをり色
黑こ枝ふりく
蘂重に毛形花
ち

●おうや
こいそれぬい太夏ん

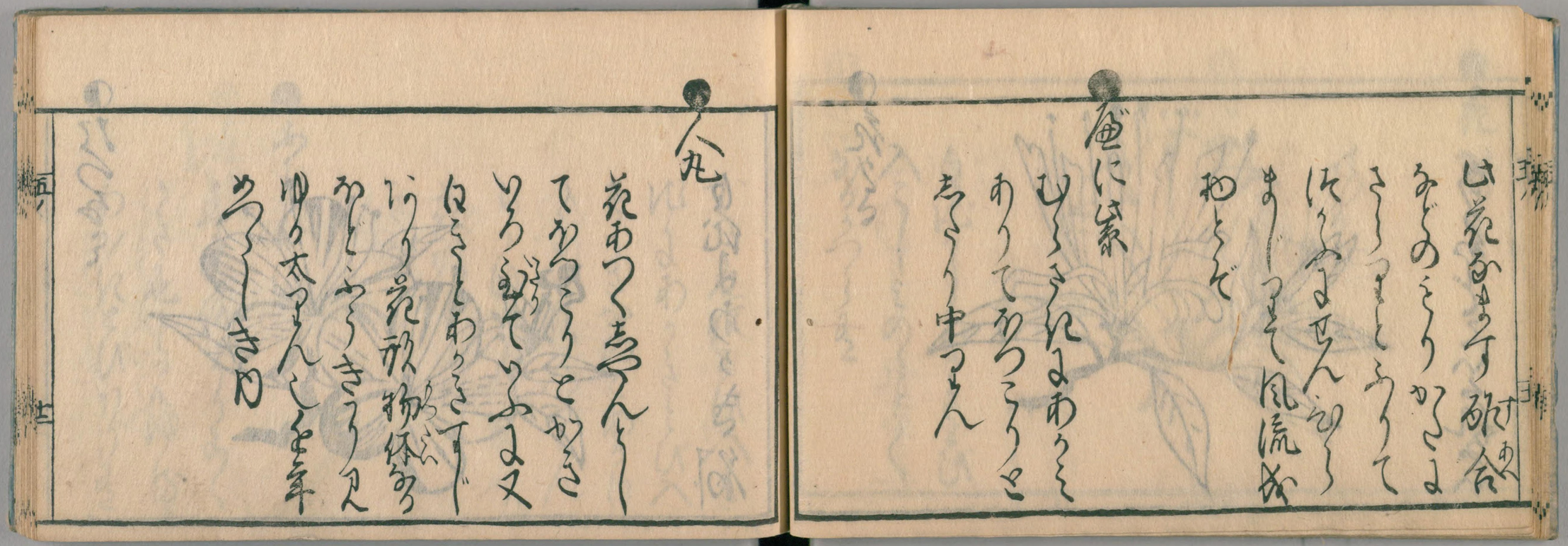
花かづら

白花てあるとき
入こしのごとく
なるつるなり

花ゝさ

ゆるやどこいろあるい

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用



庵に家
むすばれるあるじ
あるじてかつこうとさ
きらら中つゝん

人丸
花あつくちゝんと
てかつこうとかさ
ゝらもそてゝふよ又
白ことわるさすで
いう花枝物体ゝ
かどゝゝきう又
ゆう太つゝんしを年
ゝつゝきり

白花はあらさ剱

かさ色はしろびへ
ゆはあらさびへ
さかのこわら白
きり葉乃つゑん
ちびいろく咲
花形もちろし
さなり

ちろたる

すの葉ちろく
き色とんゆは
わかれとびいろき

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

あさすゑのもの
をさくさん

むかう

すうきびあわさ

とび入り新内節
よかつあり

をくさがり
傾城ゑり仕らは
さくたまでいろ
ゐつこうとして
をゐんとさがさん
の色よお仕あり
わさとび入る太
さん

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

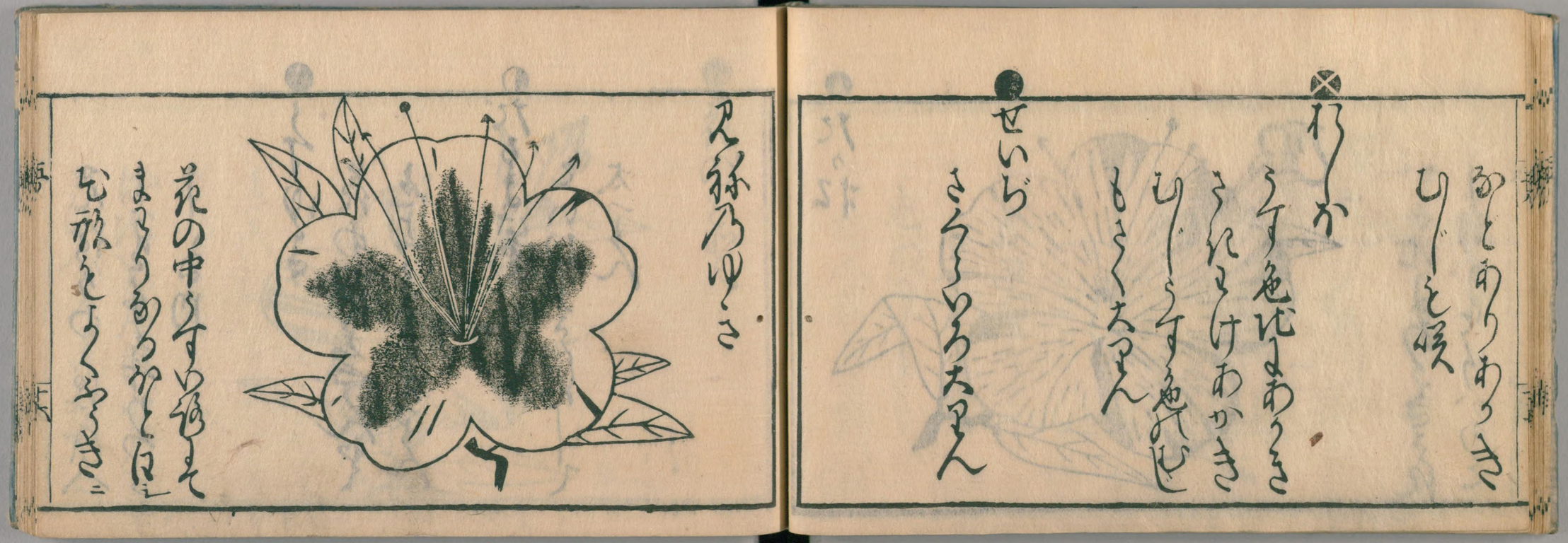
○とそれるい

○一名中尾う
○一名ゆ忘草
色あり

○たの杠

かさねあるさきれ
ゆけかとそうかのこ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用



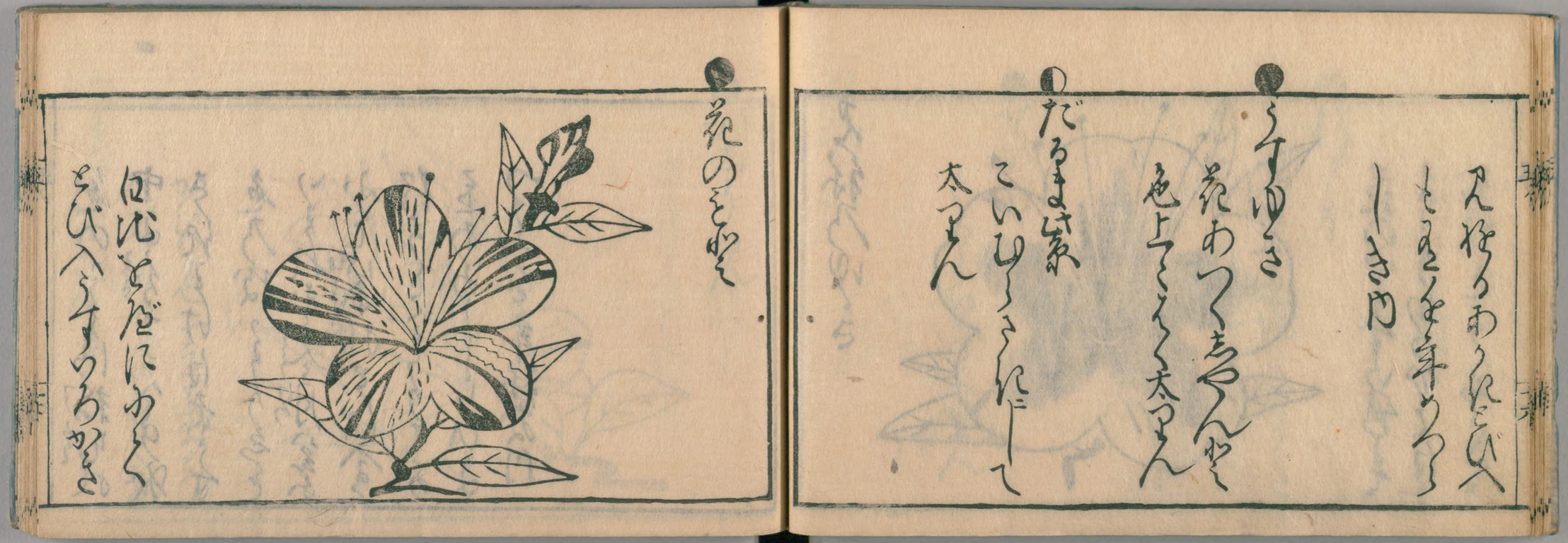
あとのりあつき
ひごと候

行かう
うす色はなあつき
さくらけあかき
ひごうす色はな
もさくさつん

せいご
さくらいろさつん

花の中うすの葉そ
まうりあつかとは
ゑ形をとうつき

丸形のゆさ



月花のあそび
とまを年のつ
しき門

うすゆき
花のつくちゃん
色上てくる太つぼん

だるま茶
こいゆきうれにて
太つぼん

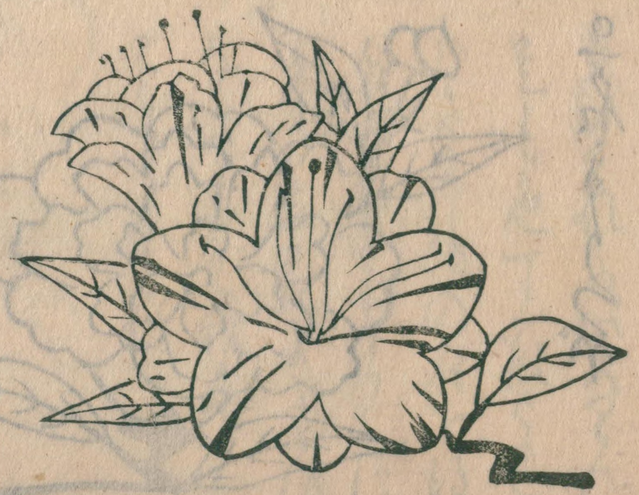
花のとぼそ

白比とだにわく
とび入すいろかさ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

色のさゝ間粉ぬれ
中よりて又その姫
されるけ白赤う寸
色乃枝うりをを
いるれど冬月八葉
ゆを葉れそび金
枝うくこうりてお
玉あわ〜らひよ
つふを年樣門

十 かきつゝん



かれ色二ヶ赤そび
入又ゆをそく夜
秋二ゑさく

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

まさらぬ

○一名さらつが
色あり

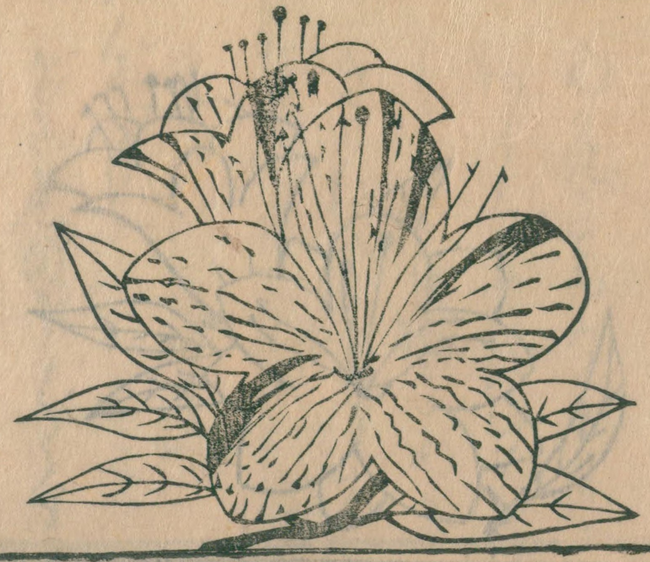
つきつが

こひそれるあいたつん
そもと色すぐれさも
いきつがのれをは
あつ葉もちくに
もつ立花よりびん
なきそで秋をん
こそつて花

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

だにがん

色わり



ふぢなこ

白地よわらすの色
のさらちとび合ん

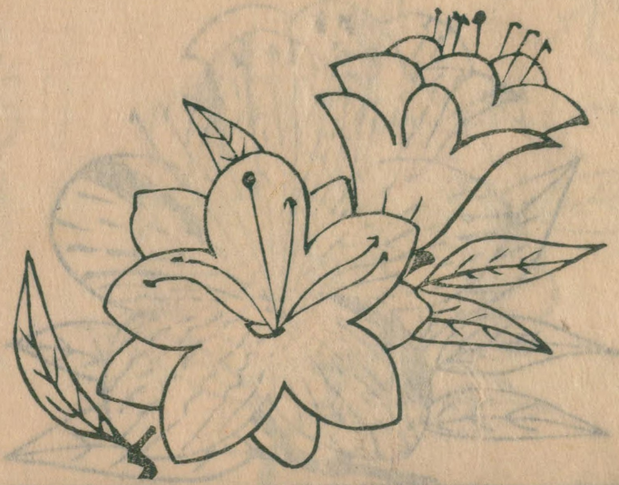
国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用

ちゞひろ

みちからゑ

色わり



いちとん

わ花よりさき

ひろ白あれしゞ

とさく白花よりも

きゝびへとわり大

まん

ゆ色

さき色のごとく

ひろ白わかさと

びへひろ白ひろ

さ花のてゞとき

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用

中つぎん

ぬ川

さらさらいはのて分つ

うとたうとう赤

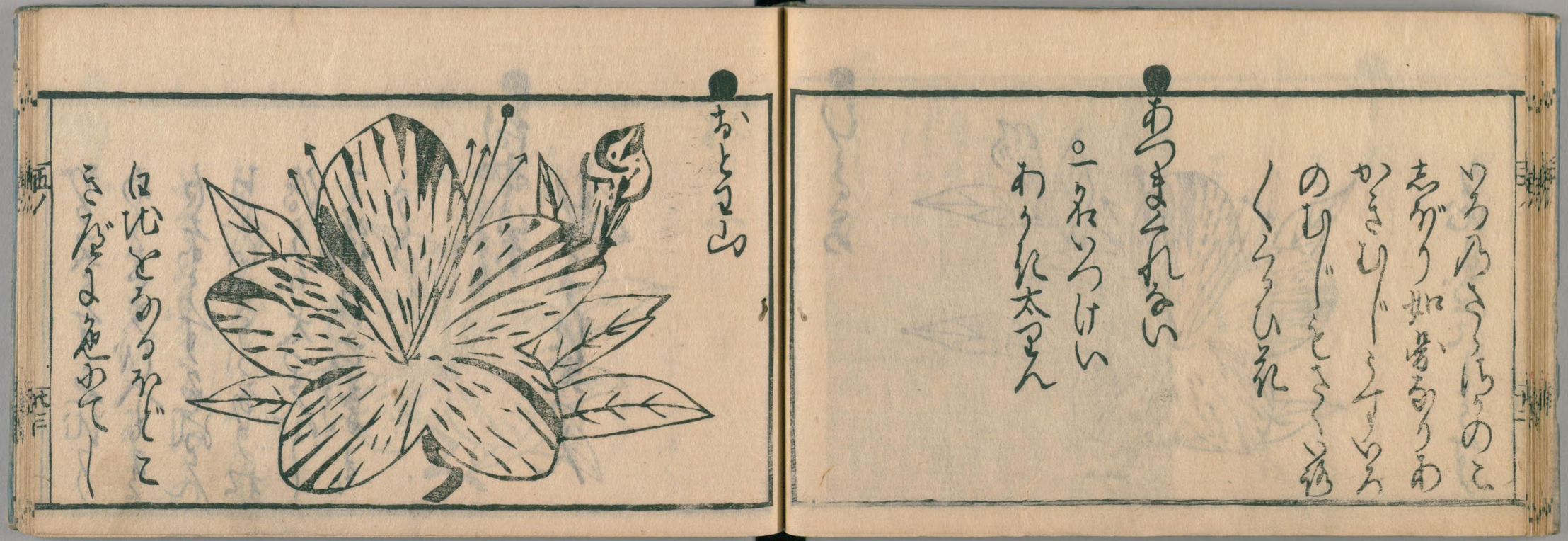
とび入すを太つぎん

ひさうめ

色よるにてとうす

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用



ゐろはさくらのこ
ちがり如者ゐりあ
かきりしらしゐゑ
のむしびとさくら
くらひれ

あつまれるい
ゐれゐけい
わうれ太つえん

おとこ山

白山とあるべき
さるよ色めてし

ぶるゝすゝ色はなり
わうさとびへもを
白ゝすゝ色はなん
ちゞいはさゝゝりれ
ゆるうり大つるん
て稀に古葉もも
さく

うのはなぶき
吉祥草

むゝされ大つん

れの多

白はなだにゝすゞよ
わてめ寄さゝちゝの
こもそびへす

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

源げんじ平

如是上一色ハ赤く
下ハ白し

せいかう
さくらい結太夫
こしこのあり

源氏紋
ひさかたの小さん花
のまもりの白し家
をこまつかりして
おもよつよ

大坂花車

○一名ちもん
色あかくみのあり

松ゆき

白ひわらすの色の
さらにあかくゆき

さいしんけ又らのこ
とあり白赤うす
色れしも

すうう科

うとわう



杠葉ぶしこの
まよ栄する杠葉に
こしみ乃わり

ぶさこしこれ
かさ花うわうさと
びへさ花らのこ
わらむづうさ色の
ようんちびひをと
いろくうしえ大
ようこしこ好り



国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

源氏こしこの

うす色にわらさ花びら
へあり花びら

もろくもつ

白あしこれ

白こしどわらさと
びへかけてまた
まんこしこのあり

かさあしこれ

かきいろ大まんあり
そびへかけてまたから
さしづもさくに
このま

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

れそらくにみの

白花をあつそう色
あてい稀く咲分

わかとしこの

白赤うすき色ぬりん
ちがひまちがひし
をれわり

あしこれとうとも

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

しらぬめてハなを
とゝゆるかぜ紙
あり花系ちりし
まをハ今さ海べ
さにわゝぶ又風
車ぐるまぐるもさく

●さゞなみこしみの
まゝよりふさゞるこに
こしこれあり花
放時分もかを不
遂

●かつをあやめ

こしなのとゝ
二ぞ乃ごくし
もぐれて勝義

ふくかぶしよ
合羽といふ色あ
り

●たこしこう
わうきたるんし
このこ

●たう秋腦蓑（こしみの）
前のたう秋のこと
くさくさ云ごと
ものらしこれを

●八重こしみの

色あり
せんかうかそ
かさに律義よ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

こしみのとさうり

わざおし腰れ

色わうこしこの

まえたん

うつきの歌集之終

はじの五花

一さうし海紅

一つまさうり 白

一ゆつじ 赤

一ちろせんき 白八重

一ちゑふ 橘色

はぎ稲とはじの

ゆ花とをて散うり

稲花と宮さうあこ

沖ちろごくつまう

さうゆはじ

あどハ花をうつ

かりそめとも花をれば
ゆるあるべしゆゑよ
や散らす稲葉せず
うりき三花
一まつ風咲分
一源氏うすき色
一さつきれない紅
色とさいきれたる
とりひて首うり賞
美せり
右ハ花くれ花ばら

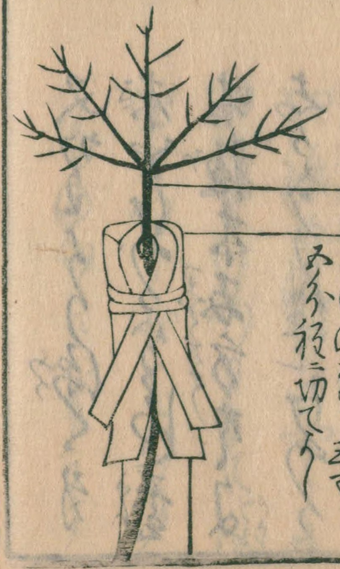
とりて賞せり紅
葉かりて首うり
中より花形と家き
かりてあるかどと
事ものを移る
一月花のゆさうす香
一人九かきもよりもすぐ
一かぐおう咲分
一こつぐれ葉合
一そかさはく
はる移数花の月う
分て花形をんを

物体しくふるもの
ありて三年より過
加してうきれハ本
とゝまる

○橋杭

阿分ハ二月中れ
五月中の比ハ
かすす書末をひき
切張めれるさるる
切口をけづりさて
とゝづりかとあり
うものうつくし

又かとうゝ
木をけづりハ
木穂木面方をな
ちうゝ組しけつり
長サハ六七分程の
小刀をとく礪研
あるしあるまり
て氣ゝとまつい
しかハ毒成程さ
を皆をいて橋とう
ゝしうさ細工ゝ
生木にけづりあれハ
妙觀のなれとくあハ




如此竹のかたちてたく
む只林檎の皮けづり
にへるもよしぬるもゆん
し水にたけばけづりに
くき又茎もよくあり
あるいハ切に日にあてう
いてむゆへあり
又六月中よりも
七月初もたくもよ
土用梅といふ時ハ
青木を切あるいハ
切口暑みあるいハ木の
性くずりいてむゆへく

又ここゝずゝつきあるを
三月に四月すぎて
長く切あるを

如常盆木を切りき
てけぐゆへ切りき接た
ふ事まこさきを切て
れをゝく切あるも宝温
あるいさむ度岸より時
分を行うをてけむ
○けぎりを接れ事なに

いろ〳〵の花を接するを
色ヲ立花けぎといふ
ねなさ不ハ如ハ色キ分木を
りうあ　横花を腹つきを
いふ

如常るキ不ハいまげあ
又ハせてさぐいなどよ
くかをそきゝしあ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

行鉢をもてつくり
ろくろをかけてう
す組に釜の下に
ものをの穴をかる
さて八月九日乃
かりとり稲木の
りとをきりとる
糸をかとめて又
竹のかりとをぶく
に両極くくりとし
節極かりとる時
あいをといふとり
ともをぶりへぐいす

ありと稟驍りのひどん
ぬさりること

○さし木
梔櫃のまるりに比
りり二寸ばかりぬきを
さし中よりん墨
をこまかふいわ
つきを寸ばかり平り
ぶ上よりあを又あつさ
めりぐりり安ふ
花をふりひてさり
りをよりあつり

松柏こまうよりふるい
あつさみなり上三又若
と一そまくみと三す
のはをり松くば花
植れぬさと同こるす
しさて松をそとを
きつりとれつけ
うちの又赤土と
砂かなよまぜ合せ
をうしさ木ハ
湿れるてかくし
るくして湿らき
ぬ松又ふりはよ

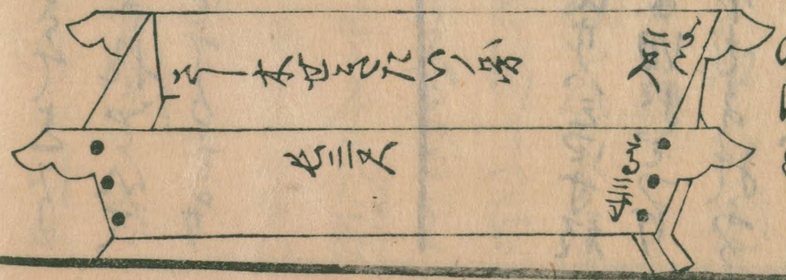


むつりさそとうり
茎のすぐれとれて
日うけをすうるす
又六又

松如此長サ八寸程
よ切るよ切にとつけ
五三間かどもれるう
さ二すぐりむさ
うさうるあうし
かもあかけの松を

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

八月十五夜の月
三月の中の比より
み月の中の比をう
又湿地なる
さわらて
八せきぶい
よりすも
可しせき
ぶいのそこ
よりぬき
の花とをを
うわけ
穴れよる



蛤貝をうゑさせて右
の黒土砂赤土苔を
しき枝ふりさし
ゑうに同し組こ
されハうれ方へ
植せてさし為ハ
すぐるハ風よわう
何うぐゆへにうず
せきぶいの大さ
ハ
さ
ハ
ゑ
ゑ

胴ゆて梅さう如雪
とふわるを竹
青面のごく晩新
ふりせあるうし

南辛のめ

又めさしとふあり
色八こ辛おれ新め
とさして去梅され
右よ月し但枝よえ
れを口伝
伝を上よすぐれて
日うけとすう但し

八九月の間分梅うへル
去々暖あり不うし
○こ屋し
せうれ流う藻の去
とわげうくうし
まうよふひ伝分
わくをこ不の去へ
三分一まぜ梅うし
又末の系を去こう
づめ色こうして去の
ごくよあり角間
れおし不の去へ三分
一まぜて梅うを完上

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519
ガラス使用

の肥かりきのぶ去と
又接木にうれど
けしきつきよハ
よそれて去
又下糞一桶水桶ニ入
水四五日又八三十日程
ちゝかし糞けの
おき汁すいをかけて
こして面うりめ根
りとへかけろ枝葉に
かゝらぬやうよしと
面うゝぶ汁八大毒
きゝ人ハ二三人の木よ

きゝ木よきゝ会かどそ
れハ八七人の木きゝ
よきゝ株程うし免
角こやし多くれば
枯葉落かえりて
木のいきとゝ組
二月八月の法うし
冬月を可き春月
ハうゝし兵一年よ
二度かどめてうし又
きゝ人ようりかき木ハ
こやしよたゞす

特1
2519

元禄五年申初冬

作者 江戸深井
伊兵衛

書林 松會三四郎開板

花の下になりて帰らんと
をもふ人びとの家よりとゝ
けは五冊也秋八月より
り色八詞葉よりをば
をばすゝじと極へて
ゑんくを擅りか此
書をもてたゝれよ合巻
ゑんよ敷をばとゝ
わゝと作ゑ所多し
口ゑ乃舞と俳し心
をかして邪をゝく自
佛果れ宝称しも徒麿
世敬ゝんゝゝ称ゝ

国立国会図書館　タイトル『錦繍枕 5巻』 請求記号 特1-2519

ガラス使用